昭和39年８月27日第３種郵便物認可　（旬刊・毎月１、11、21日３回発行）　© 京都自動車新聞社 2023年　購読料（６カ月）11,000円（税込み）

2023年（令和５年）
4月11日 火曜日
第1911号

京都自動車新聞

トラック 取引・労働環境改善協議会 2
整備 人材確保対策取りまとめ 5
京都ダイハツとあいおいが共同寄贈 6
ＪＵ京都 オートリース取扱高伸長 7
◀ＫＣＡＡ京都 出品コロナ前水準へ 7

発行所　京都自動車新聞社　京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内）　電話（075）672-0552　ファクス（075）682-0205　メール　access@kyotojidosha-np.jp

「はんなり運転」実践誓う

トラ/バス/タク３団体「府内の歩行者保護意識高める」

横断歩道に近付いたら、はんなり運転を―。トラック、バス、タクシーの３団体は会員事業者にはんなり運転実践を呼び掛けていく。はんなり運転は、日本自動車連盟の調査で京都府が信号のない横断歩道で停止しない割合の高かったことから少しでも改善しようと、京都府警が１月から始めた取り組み。５日に行われた実践宣言式には、各団体および事業者の代表が出席。今後、会員挙げて推進することを誓った。

３団体の代表がそれぞれ力強く宣言

はんなり運転は横断歩道における歩行者優先義務の順守だけでなく、「落ち着いて歩行者を保護する」という他の運転者の模範になる運転を指すもので、気品さや上品さ、落ち着いた様子などを表す「はんなり」という京ことばにちなんだ。

参加団体を代表して、京都府トラック協会（荒木律也会長）の井尻憲司専務が「緑色のナンバープレートをつけて走行している事業用のバス、タクシー、トラックによる交通事故は年々減少傾向だが、ゼロにはなっていない。本日からドライバーは上品さと気品さを備えた『はんなり運転』を実践し、特に、横断歩道における歩行者を優先し、安全に横断してもらえるよう『はんなり運転推進団体』として会員事業所のドライバーに啓発、周知していく」とあいさつ。

引き続き、宇野エキスプレスの甲谷尚平氏（トラック代表）、京阪バスの尾形信行氏（バス代表）、八光第一交通の長瀬浩二氏（タクシー代表）の３人が「私たちは、プロドライバーとして、横断歩行における歩行者優先をはじめとする『はんなり運転』を実践し、一般ドライバーの模範となって、府内の歩行者保護意識を高めていくことを宣言する」と力強く述べた。

府警察本部の岡本茂交通部長は「皆さんが、横断歩道を渡ろうとしている子どもたちを見守る姿を府民が見て、そこから『安全を守る』という雰囲気が広がっていくことを願う」と期待を寄せた。

京運支局長に岡本氏

近運局　1日付　人事異動

近畿運輸局が１日付で行った人事異動で、京都運輸支局長に岡本昇氏（近運局観光部長）が就任した。前支局長の藤原幸嗣氏は近運局観光部長に就いた。

岡本氏は１９８４年４月、大阪府陸運事務所和泉支所登録課に入所。２００２年10月に大阪運輸支局輸送課貨物係長、05年４月近畿地方整備局道路部路政課行政第四係長、13年４月近畿運輸局企画観光部観光地域振興課専門官、18年４月同交通政策部消費者行政・情報課長、20年４月同総務部人事課長、22年４月同観光部長などを歴任。富山県出身、57歳。

◇◆◇◆◇◆◇◆◇

支局内の主な人事異動は次の通り。出向、船舶関係等は除く。（自動車技術総合機構、軽自動車検査協会の異動は７面）

支局長（近畿運輸局観光部長）岡本昇▽次長（同観光部国際観光課長）森田正志▽首席運輸企画専門官＝総務企画（滋賀運輸支局首席運輸企画専門官、自動車登録官、登録）瀬野正和▽運輸企画専門官＝総務企画（大阪運輸支局運輸企画専門官、総務企画）藤田勇輝▽同＝輸送（近運局交通政策部交通企画課地域交通調整係）貴嶋聡▽同＝旅客（同総務部人事課）西川征孝▽首席運輸企画専門官付＝輸送・監査（新規採用）眞仁田梓▽運輸企画専門官＝監査（神戸運輸管理部兵庫陸運部陸運技術専門官、整備）藤井嘉宣▽同＝運航労務監理官（京都運輸支局企画専門官、監査）三島尚大▽同＝監査（滋賀運輸支局運輸企画専門官、監査）梶原由樹子▽首席陸運技術専門官＝上席自動車検査官＝検査整備保安（復帰、自動車技術総合機構近畿検査部検査課長）辻本幸治▽陸運技術専門官＝ユーザー行政（採用、同なにわ事務所自動車検査官）▽運輸企画専門官＝登録、陸運技術専門官併任＝検査整備保安（近運局鉄道局技術企画課土木・電気基準係長）奥雅樹▽同＝主任自動車登録官＝登録（大阪運輸支局なにわ自動車検査登録事務所運輸企画専門官、自動車登録、登録）信原真奈美▽同＝ユーザー行政（近運局総務部会計課経理係長）野村知功▽同＝自動車登録官＝登録（滋賀運輸支局運輸企画専門官、自動車登録官、登録）青木直也▽同＝登録（近運局観光部観光地域振興課、国際観光課併任）大辻優香▽同＝自動車登録官＝登録（再任用）西山あつ子

任期終了（陸運技術専門官、検査整備保安）若林朝人＝３月31日付

追跡データベース

―東京商工リサーチ編―

倒産数、前年超え続く

２月　コロナ破綻は最多更新

２月の負債額１０００万円以上の全国企業倒産件数は、前年同月比25・7％増の５７７件と11カ月連続で前年を上回った。対前月でも２カ月ぶりに増加へ転じ、増勢は強まっている。このうち京都は20件。東京商工リサーチが先月公表した。

５７７件全てが中小企業の倒産で、従業員10人未満が全体の86・1％を占めた。産業別では、サービス業が１９０件と、引き続き10カテゴリー中最多で推移し、前年同月比では６カ月連続で増。製造業、運輸業、情報通信業、不動産業、建設業、卸売業、金融・保険業は増加し、農・林・漁・鉱業は減少に転じた。小売業は前年と同数だった。

一方、20年２月以降に起こったコロナ関連の経営破綻は、今月31日現在で５９５１件（負債１０００万円未満も含む）に上った。京都は前回から１件増え１３２件。22年中盤から後半に向かうにつれ、コロナ破綻の増加トレンドは一気に強まり、昨年12月以降４カ月連続で月別最多件数を更新。なかでも、３月の破綻件数は３２８件と、２月までの水準をはるかにしのいだ。

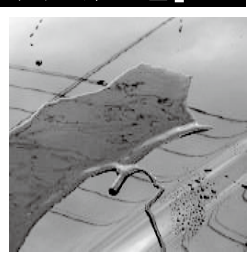
業種別では、飲食業が突出し、建設業、アパレル製造・販売、飲食料品卸売業、宿泊業の４業種が追随する状況は変わらない。

今後も、コロナ関連融資の返済、原材料価格や人手不足でのコストアップが重くのしかかり、倒産リスクは高まる一方だ。コロナ破綻は依然増勢が続くとみられる。

産業	倒産件数	
	2月	前年同月比（増率）
農・林・漁・鉱業	4	▲50.0%
建設業	115	43.75%
製造業	60	15.38%
卸売業	66	8.19%
小売業	51	±0.0%
金融・保険業	4	―
不動産業	24	118.18%
運輸業	36	125.0%
情報通信業	27	28.57%
サービス業ほか	190	19.49%
合計	577	25.7%

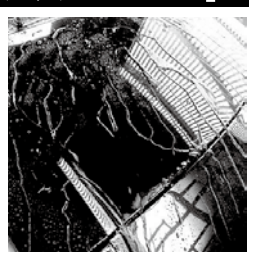
高性能 ボディー・ガラスコーティング剤

プラスティ「アクア プレミアムＺ」



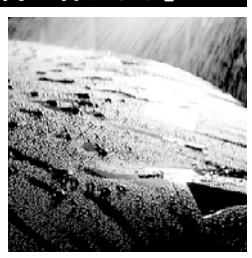
親水タイプ
水滴が塗装面に馴染む性質を持っている為､ウォータースポット、イオンデポジットが付着しづらいという特徴を持っております。

プラスティ「アクア NANOS-i」



疎水タイプ
水玉を形成しづらく、水が線や膜のまま下に滑り落ちていく水のはじき方をします。

リアル「至高の名もなき」



撥水タイプ
雨等が水玉になり転がり落ち、共に車の汚れも流れ落ちる為､汚れが目立たなくなります。

株式会社大黒商会
DAIKOKUSHOKAI

本社：京都市右京区西院平町 10 番地

TEL：075-311-0141

営業所：京都・南・亀岡・舞鶴・福知山・福井・小松・金沢・奈良・彦根